

2006年11月21日

蒼天社政治情報センター
代表・石川 鐵也 様

先ほど、「公開質問状」への回答を書き上げ、発送しようとしたところに「追加質問」が届きました。下記の通りお答えし、「公開質問状」への回答と一緒に送ります。

5. 私の主張に二の句を継げないとのことで、その理由は、「小出さんの唱える太陽エネルギーの具体的な活用方法が不明瞭故に理解できないからです」とありました。

石川さんが問題にされている私の主張は、第3回目の質問状に対して以下のように書いたものです。

長い時間を考えれば、「基本的」に人類は太陽エネルギーに依拠する以外ありませんし、政策転換には長い間がかかることを考えれば、少しでも早く太陽エネルギーの利用に向かうべきことは明らかです。そう思わないということであれば、むしろその根拠をお答え下さい。

太陽エネルギーの活用が現在世界的に進行していることをご存じないはずはないと思います。具体的には太陽光自体の利用もありますし、太陽熱の利用もあります。風力にしても元を質せば太陽エネルギーです。太陽電池パネルの普及を含め、太陽エネルギー利用の質と量は政策によって大きく進んだり、停滞したりします。ただし、現在のように日本がエネルギー浪費を続けるならば、太陽エネルギーを含め、いかなるエネルギー源でも支えきれません。だからこそ、日本のエネルギー浪費構造を変革しなければならないと私は主張しています。

政治情報センター代表という石川さんに対してこんなことを解説する必要はないはずだと思いますが、一国の政策は方向を決め、大枠を決め、その周辺に産業や個人などが多くの問題を出しながら決めていくのです。それは固定的なものではなく、恒常的に検討し、変更し、修正していくものです。現在の日本の政策は一部の利害関係者だけで作られた誤ったものであると私は主張していますし、私が政策立案過程に参画できるのであれば参加すると繰り返し書いています。石川さんとの論争においては、私はデータを付けて方向と大枠を示しており、それに対して異議があるのであれば、まずは石川さんが具体的に示して下さい。

以上

大阪府泉南郡熊取町朝代西2丁目1010

京都大学 原子炉実験所

小出 裕章

phone: 072-451-2458 (fax 兼用)

fax : 072-452-8193 (fax 専用)

e-mail: koide@rri.kyoto-u.ac.jp

URL : <http://www.rri.kyoto-u.ac.jp/NSRG/index.html>